

# 東京農業大学稲花小学校

学校だより【2020年4月20日】第45号



## 子どもたちは元気かな？

「緊急事態宣言」発出後、一斉臨時休校が続いています。4月16日(木)には、その範囲が全国に拡大されました。本校の教員も、4月7日(火)以降、原則として在宅勤務が命じられています。また、アフタースクールも完全に閉室となりました。子どもたちの気持ち、保護者のご心配を考えると辛いところですが、この新型コロナウイルス感染症の拡大を止め、尊い命、社会、そして子どもたちの未来を守るためには必要であることは言うまでもありません。

本校では、3学期中途からの一斉臨時休校に際しては、毎週、課題を配信し、週末には保護者を通してその成果を受け取ってきました。毎週の成果に基づいて、翌週の課題も作成、配信してきました。長期休業中には宿題を出さないのが基本方針の本校ですが、この春季休業期間だけは違いました。学力低下を防止するための特別な対応として、春季休業期間中に取り組む課題も出されました。4月からの新学期は、3学期と同様に課題の配信と成果の受信を続けています。

それに加えて、4月13日(月)の週からは、各学年に向けて、動画の配信も始めました。学校の様子、教職員の顔を見ることによって、少しでも子どもたちの心を安定させたいという願いからです。動画作成が必要になるという事態を想定していなかったこともあり、本校の撮影機器は十分ではありません。小学校教育ではベテランの教職員も、動画の撮影にはやや苦勞をしました。しかし、少しずつでも学校の様子を伝え、また、少しずつですが動画教材も導入することで、この難しい時期の教育の一助としたいと考えています。近々、オンラインにより、担任と子どもたちが直接にコミュニケーションをとる機会も作りたいと、その準備をしています。

最新の機器や技術があり、また、ネット上では素晴らしいコンテンツも多く見られる中ですが、本校の教職員は、今までの教育経験を活かし、それぞれの学年に合った教材を作成し、配信していきたいと考えています。教材を受信し、子どもたちの勉強を支えていただく保護者の皆さまには、引き続き、家庭での学習にご協力をお願いする次第です。

## 教育後援会役員と懇談

4月6日(月)の本校の入学式には、来賓としてご登壇いただいた東京農業大学稲花小学校教育後援会会長横沢正和様、同副会長朝倉啓友様ですが、庶務担当松本様、会計担当牧野様とともに、この一年間、教育後援会活動にもご尽力いただきました。新年度を迎え、まだ1年生の保護者との顔合わせもできない中ですが、新年度の活動予定などについても、折々、懇談し、意見の交換を重ねております。

本校にはいわゆるPTAはありませんが、東京農業大学、各高校や中学校で組織されている教育後援会と一緒に活動をお願いしているところです。

今後は、全児童に対し、野外活動にぴったりのナップザックが贈られるという嬉しいお知らせもいただきました。この詳細についてお知らせできる日が、早く来ればよいと願っています。

## 教育職員特別免許状

東京農業大学稲花小学校校長として運営や教育に携わる中、農学博士・研究者として、あるいは大学教員としての長年の経験をもっと活かしたいと願うようになりました。そのような中で、特別免許状制度をご紹介いただきましたので、学校法人東京農業大学 大澤貴寿理事長のご推薦をいただき、東京都に特別免許の取得について申請をいたしましたところ、書類審査や面接を経て、3月29日(日)付で理科特別免許を授与していただきました。

特別免許とは、「小学校の教員免許状を持っていないものの、優れた知識経験等を有する社会人等を教員として迎え入れることにより、学校教育の多様化への対応や、その活性化を図るため、授与権者(都道府県教育委員会)の行う教育職員検定により学校種及び教科ごとに授与する「教諭」の免許状」のことです。小学校の先生方とは異なる知識や経験を、本校の理科教育や稲花タイムの教育にさらに発揮していきたいと願い、ご報告させていただきます。

校長 夏秋 啓子